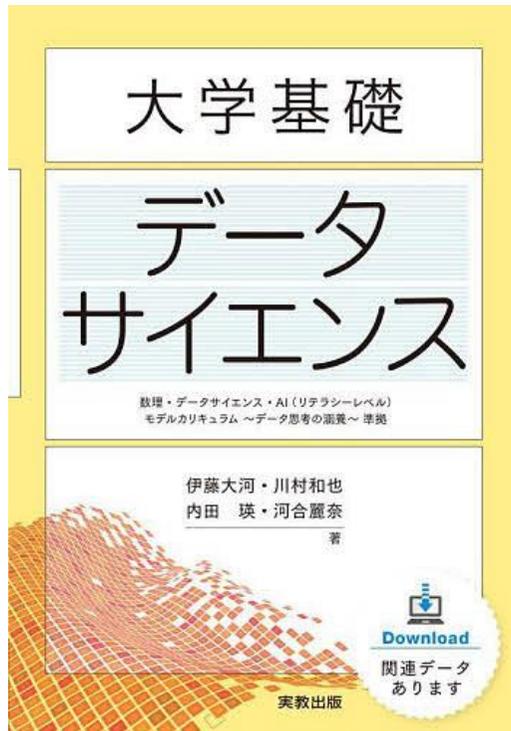


【大学教育推進会議】 e-Learning 推進部会

1. e-Learning テキスト作成(12月31日〆切)

| 学科・専攻・専修 | 科目名 | 担当者名 | 概要 |
|----------|--------------|-----------------------------|---------------------|
| DX 推進科目 | データサイエンス (仮) | 村瀬 康一郎, 櫛 彩見, 林 知代, 澤井 進 | 下記の市販テキストを使用する予定です。 |

| | テキスト名 | 執筆者(代表) | 出版社並びに価格 (ISBN) |
|--------|--|------------------------|---|
| 市販テキスト | 大学基礎データサイエンス 数理・データサイエンス・AI (リテラシーレベル) モデル カリキュラム～データ思考 の涵養～準拠 | 伊藤大河/川村和也/内 田瑛/河合麗奈 | 出版社：実教出版 発売日：2023年8月15日 総ページ数：143頁 ISBN：978-4-407-36122-3 価格：1,100円 |



もくじ

| | |
|--------------------------------|------------------------------|
| 第1章 ようこそデータサイエンスへ 5 | 第9章 データの収集と視覚化 75 |
| 1 はじめに 5 | 1 グラフの種類 75 |
| 2 データサイエンスで学ぶこと 8 | 2 読解されないグラフ 79 |
| 3 データサイエンスを学ぶ心構え 9 | 3 2つのデータの関係 81 |
| 第2章 AIにサポートされる社会 11 | 4 根本の抽出方法 83 |
| 1 AIによる互助の促進 12 | ～データが集まらないためには～ |
| 2 AIに代替される経験 13 | 第10章 データの解析方法 85 |
| 3 AIが短く歯 14 | 1 2つのデータの関連性 86 |
| 4 AIと人間の共同作品 16 | 2 いろいろな検定 89 |
| 第3章 情報をめぐる世の中の潮流 19 | 第11章 情報の利活用と方法 93 |
| 1 情報を利用する技術の発達 19 | 1 情報の可視化 93 |
| ～使い方はどう変わってきたのかも知る～ | ～自ら見たいものをどう扱うかを知る～ |
| 2 Society5.0に向けた情報利活用の課題と対策 24 | 2 AIの登場と進化 94 |
| ～日本が目指す社会～ | ～AIは自分自身で成長するものか～ |
| 3 情報利用による課題と変革例 26 | 3 データやAIを扱うときの注意点 95 |
| ～便利なものには落とし穴もある～ | ～便利なものには落とし穴もある～ |
| 第4章 広がるデータ活用の幅 29 | 第12章 AIによる生活のアップデート 103 |
| 1 身近に広がるデータサイエンス 30 | 1 スマートスピーカーやAIアシスタント 104 |
| 2 販売データ 31 | 2 ロボット掃除機 104 |
| 3 協賛フィルタリング 32 | 3 無人決済店舗 106 |
| ～あなたと似た誰かが買ったもの～ | 4 チャットボット 107 |
| 4 データの活用が生み出す新しい価値 36 | 5 自動翻訳 108 |
| 第5章 AI開発の歴史といま 37 | 6 ボードゲーム 109 |
| 1 人工知能技術の成長と限界 38 | 第13章 AIによる社会のアップデート 111 |
| 2 生活の中のAI 42 | 1 移動におけるAIの利活用 112 |
| 第6章 情報倫理とセキュリティ 45 | 2 農業におけるAIの利活用 114 |
| 1 情報セキュリティの要素 46 | 3 医療におけるAIの利活用 116 |
| 2 各資産のセキュリティ 49 | 4 AIの利活用の今後 118 |
| 3 情報の流出 53 | 第14章 秩序あるデータの重要性 119 |
| 第7章 データの種類とその活用 57 | 1 AI・データサイエンス時代のプライバシー保護 120 |
| 1 データの種類 58 | 2 データと競争に向き合う 124 |
| 2 データの活用事例 61 | 3 信頼できる人工知能を自覚して 126 |
| 3 データの活用方法 63 | 4 AI活用における責任の所在 127 |
| 第8章 データリテラシー 65 | 第15章 これからの学びに向けて 131 |
| 1 平均とは 65 | 1 データサイエンスのこれから 132 |
| ～平均は全体の特性を表しているか～ | 2 AIと労働問題 132 |
| 2 偏差値とは 66 | ～AIは人間を超えたか～ |
| ～偏差値60はどれくらいすごいのか～ | 3 デジタル・シミュレーションの重要性 134 |
| 3 表計算ソフトを用いた集計方法 67 | 4 やさしいプログラミングのはじめた 136 |
| ～パソコンを使って集計しよう～ | さくぶん 142 |

